

「入院セット」で必要品をまるごとリース!

8月より、「入院セット」が開始になります

1日単位で入院期間に使用する衣類・タオル・紙オムツ・日用品等をお届けします

- 突然の入院も安心!
入院必要品の購入負担を軽減
- 衣類やタオルを抱えて通う
体力負担を解消
- 清潔な商品を常に提供
安心で気持ち良い!
- 使用後の濡れた洗濯物等からの
感染予防に!



※詳細は入院時にご案内致します

● リース品目 入院時に必要な下記の商品をご利用いただけます。

紙オムツ一式

- ・テープ止めオムツ
- ・昼用尿取りパッド
- ・夜用尿取りパッド
- ・リハビリパンツ
- ・リハビリパンツ用パッド

リネン類

- タオル類
- 肌着類
- 寝巻き(病衣)

※リネン関係品には、クリーニング代を含みます。

販売商品

転倒予防シューズ
1足 1,320円(税込)

日常生活用品

日常生活用品につきましては、サービス提供品として物品を適宜お渡しいたします。

<個人使用品>ティッシュ/ウェットティッシュ/キャンディーマグブルー/奮付きコップ/薬容器/歯ブラシ/歯磨き粉/カミソリ/シェービングジェル/入れ歯容器/パーシャルデント/口腔ケアスポンジ/口腔ケアジェル/ガーグルベース/ヘアブラシ/コップ付きクーラー/ストロー/綿棒(個包装)/デンタルフロック/ストローさん/イヤホン/タフグリップ/吸引歯ブラシ/割り箸/ヘアゴム/耳栓

<共同使用品>食事前エプロン/ペーパーローション/シャンプー/ボディソープ

特定医療法人誠仁会

大久保病院だより

No. 42
令和3年
8月20日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684

クラスター回避に向けて

～職員全員 抗体獲得～

院長 山村 誠

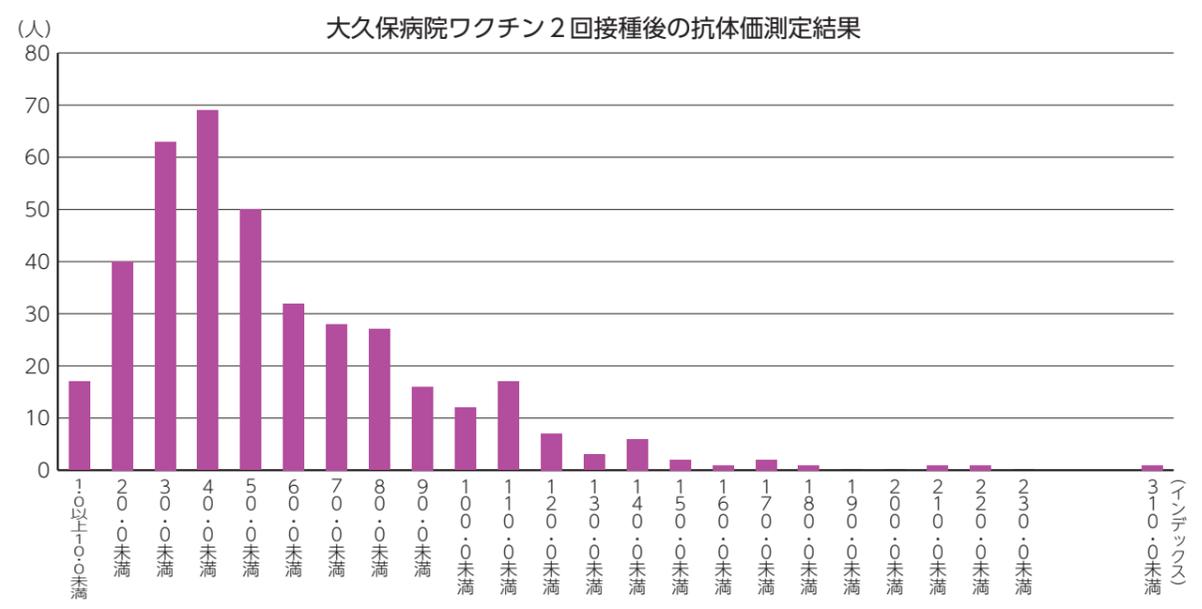
当院では、6月28日～7月21日にかけて新型コロナワクチン2回接種後の職員396名に対して、院内で抗体価測定を実施しました。

この検査は抗体価が1.0インデックス以上で抗体陽性と判定するもので、新型コロナウイルスの働きを抑えて発症を防ぐ中和抗体をもっていることを意味します。

一般的には中和抗体を持っていれば同じウイルスには感染しにくい、感染しても症状が軽度ですむと言われていますが、新型コロナウイルスに関しては、定まった見解はありません。

測定結果は、全員抗体陽性でした。当初、新型コロナワクチンは「発症を防ぐ」のであって感染そのものを防ぐかどうかは分かっていない、と言われていましたが、感染を防ぐ効果も分かってきました。感染のリスクがゼロになったわけではありませんが、院内クラスター発生のリスクを回避できる可能性は高くなり、救急医療への対応はじめ、地域医療へさらに貢献できると思っています。

なお、接種から6か月以降、再度抗体価測定を実施し、各個人の抗体価がどのように持続するか経過をみていきたいと考えています。



また、当院では、ワクチン2回接種済みの方で抗体価測定希望の方は、健康管理センターにて測定可能です。ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

健康管理センター tel.(078)935-2636 受付日時：平日 14:00～16:00
抗体価測定料金：5,500円(税込)



- 交通機関をご利用の方
- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
 - 「大久保」駅北口より神姫バス
②のりば 19「山手台」行き
③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分
- 車をご利用の方
- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

特定医療法人 誠仁会
大久保病院
〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel.(078)935-2563
<http://www.seijinkai.or.jp/okubo/index.html>

手術看護認定看護師について

手術看護認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。認定看護師としての活動について、患者・家族により良い看護を提供できるよう、手術看護の専門性を発揮しながら「実践・指導・相談」という3つの役割を果たして看護の質の向上に努めています。

手術を受ける患者様は大きな不安を抱えています。その不安は手術室内に入室し、ベッドへ横になるとますます大きくなっていきます。患者様はよく「まな板の上のコイです」と緊張した表情で口にすることがあります。私たち手術室看護師は患者様が抱える不安を

軽減するために暖かい掛物をかけ、手を握り、声をかけることで不安を軽減することに努めます。その時、「頑張ってください」ではなく、「一緒に頑張りましょう」と声をかけます。「一緒に頑張りましょう」という声かけには、手術チームで質の高い手術を提供しなければならないという強い覚悟が含まれています。

私たち手術室看護師は質の高い手術を提供するために、患者様一人ひとりに合った手術看護をチームで考え、準備し、連携し、提供しています。そのために月に1回、認定看護師を中心に勉強会を行い、科学的根拠の伴う手術看護が実践できるよう学習しています。

患者様にとって手術は大きな出来事となります。大久保病院手術室看護師は、その大きな出来事に寄り添っていきたいと思います。



手術看護認定看護師の2人



カンファレンス中



勉強会の様子

Post introduction

部署紹介

・栄養管理科



栄養管理科は管理栄養士が4名在籍しており、院内の栄養・食事に関する業務全般を担当しています。

入院中の食事は、患者様の病態にあわせたコントロール食となっています。その中で『おいしく』『しっかり』食べて頂けるよう、各行事に合わせたメニュー



七夕膳



や人気のある麺類・丼物など、日々工夫しながら提供しています。

また、食事療法が必要な患者様・御家族様へ、入院時のベッドサイド訪問や外来栄養相談も積極的に行っています。昨年は新型コロナの影響で、各種教室や市民講座などの開催が困難な状況でしたが、今年は色々な方法で健康・疾患の情報発信を行いたいと思っています。

『食べる』ことで、病気の治療や健康の維持に少しでもお役に立てればと思います。

新型コロナワクチン接種

大久保病院では新型コロナワクチン接種を6月から実施しています。

接種に来られる皆様には、待合場所・受付方法・観察会場等を、どのようにすれば満足していただけるものになるのか検討を行い、提供させていただいた次第です。

しかし6月に入り予想以上の蒸し暑さに、慌てて大型冷風機を設置し、玄関前のテントの張り直しを行うとともに待機場所や接種コーナーを一部変更するなどいたしました。

私たちにとっても初めて経験することばかりであり、注射の充填ミスがないこと、接種ミスがないこと、接種後の副反応にいち早く対応できることを念頭に置き、医師・薬剤師・看護師・事務職員と共に取り組んだ数か月でした。

幸い、接種に来られる皆様のご協力もあり、順調に進めることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。現在、ワクチンの供給が遅れている関係でストップしておりますが、再開までしばらくお待ち下さい。



充填作業中



入口からの様子



次回予約窓口